



写真⑨-1



写真⑨-2

⑨ 懸垂ストラップをカンに通して折り返し、面ファスナーで長さを調節してください（写真⑨-1, ⑨-2）。

肩関節にかかる負荷が軽減され、肩関節外旋・前腕回外位に保持されます。

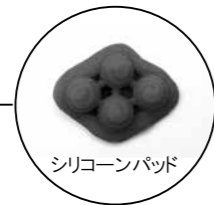


写真⑩

⑩ 各ベルト・面ファスナーを調整します（写真⑩）。



写真⑪



シリコンパッド

⑪ オプション：押さえない筋の部位に、面ファスナーを使ってシリコンパッドを配置してください（写真⑪）。

【お手入れ方法と注意事項】



注意

● お手入れをされる場合には、取扱引書①【お手入れ方法と注意事項】を必ずご覧ください。

- ・ ショルダーカフ、前腕カフ、懸垂ベルトを全てはずし、別々に手洗いしてください。
- ・ 各パーツに縫付けられている面ファスナーは、フック面とループ面を接着させてからお手入れしてください。

【品質表示】

本体：ポリエチレン、ナイロン、ポリウレタン、シリコン（滑り止め部分）
心材：スチール
パッド：シリコン

お問い合わせ先

輸入販売元

オットーボック・ジャパン株式会社 www.ottobock.com/ja-jp

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F TEL: 03-6403-1061(代表) FAX: 03-6435-8082

掲載内容の無断使用禁止

掲載されている内容、文章、画像については、無断で使用もしくは転載することを禁止します。

O-IFU-5065N-202304-PITIN

オットーボック装具 取扱引書②（製品篇） 5065N オモ ニューレкса プラス

義肢装具士をはじめとする医療従事者の方々へ

このたびは本製品をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。本製品を安全にお取り扱いいただくために、ご使用前に必ず取扱引書①（基本篇）と取扱引書②（製品篇）をよくお読みいただき、使用される方に装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などを必ずご案内ください。
また取扱引書①②は、必要な際にいつでも参照できるようにお手元に大切に保管してください。

【適応・用途】

『5065N オモ ニューレкса プラス』は、各種疾患に伴う神経症状起因の上肢・肩関節の機能不全や障害などのために肩関節にかかる負荷を軽減するための上肢懸垂用肩関節装具です。



注意

● 適応については、必ず医師の診断を受けてください。

【保証】

保証期間：3 か月

本製品は治療用装具として製造しています。用途以外の使用や、開封後、加工後は保証外となります。

【特徴】

本製品は装着することで、関節構成体の負担軽減に加えて、自然肢位の保持（不良肢位・動作の改善）、歩行訓練時の体幹の安定効果が期待できます。

【構造】

本製品は以下の要素で構成されています。

- ① ショルダーカフ
- ② 前腕カフ
- ③ 懸垂ストラップ（短）
- ④ 懸垂ストラップ用 カン
- ⑤ 懸垂ストラップ（長）
- ⑥ シリコンパッド
- ⑦ 腋窩パッド
- ⑧ 上腕ストラップ
- ⑨ 補助ストラップ
- ⑩ 幅広ベルト

主に『ショルダーカフ』および『前腕カフ』の2つの部品から構成されており、『ショルダーカフ』と『前腕カフ』は、2本の『懸垂ストラップ』により、連結されます。

【サイズの選び方】

左右、サイズを選択してください。

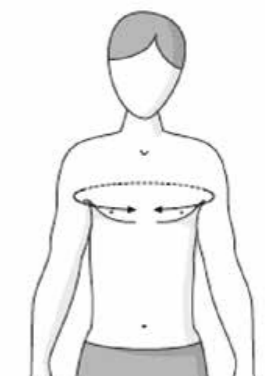
発注品番	左右/サイズ		適用範囲
			胸部周径 (cm)
5065N=R-XXS-7	右	XXS	71.0 ~ 79.0
5065N=R-XS-7		XS	79.0 ~ 86.0
5065N=R-S-7		S	86.0 ~ 94.0
5065N=R-M-7		M	94.0 ~ 102.0
5065N=R-L-7		L	102.0 ~ 110.0
5065N=R-XL-7	XL	110.0 ~ 118.0	
5065N=L-XXS-7	左	XXS	71.0 ~ 79.0
5065N=L-XS-7		XS	79.0 ~ 86.0
5065N=L-S-7		S	86.0 ~ 94.0
5065N=L-M-7		M	94.0 ~ 102.0
5065N=L-L-7		L	102.0 ~ 110.0
5065N=L-XL-7	XL	110.0 ~ 118.0	



5065N



（一箱：1個入り）



【サイズの測り方】

イラストのように腋下の胸部周径を測ります。

※ 計測値が2サイズにまたがる場合は、大きい方のサイズをお選びください。

【装着手順と調整方法】医療従事者・ご家族向け

注意

- 本製品を初めて装着される際には、必ず医師、義肢装具士をはじめとした医療従事者による調整と装着手順の指導が必要となります。
- 本製品の機能が効果的に発揮できるように、肌に直接装着することをお勧めしていますが、汚れや装着感などが気になる場合には、滑止め部分（シリコン部分）に影響しない袖無しの下着（タンクトップなど）、または半袖や袖の長さ調整ができる衣類の上に装着することをお勧めします。
- シリコン素材により、皮膚障害などを起こす場合があります。アレルギー体質の方や肌が過敏な状態にある方は、医師または義肢装具士など、担当医療機関にご相談ください。

備考

- 本製品を日常的に使用される場合には、適切な装着のためにも、医療従事者、介助者などの補助のもとで装着することをお勧めします。（本製品は装着者ご自身より片手で着脱できる構造となっておりますが、自己装着するには、リハビリテーションの過程において、同梱の「片手着脱の手順」にしたがって充分訓練することが必要となります。）
- 1日の装着時間ならびに装着期間は医師の指示に従ってください。
- 毎回使用前に、正しく機能すること、磨耗や破損がないことを確認してください。
- 正しく機能しない場合や、磨耗や破損がある場合には、使用を中止してください。

装着前に取扱手引書①基本篇の【使用上の注意—必ずお読みください—】をよく読み、また、医療従事者による装着手順の指導に従って、正しく装着してください。（写真は右肩への装着方法です。）

【装着前の設定】

- ショルダーカフ、前腕カフは連結せず、全てのストラップを緩めます。



写真①

- ① 筒型形状になっているショルダーカフに麻痺側の腕を通します（写真①）。



写真②-1



写真②-2

- ② 肩関節まで装具本体を装着したら、ショルダーカフの面ファスナーを締めます（写真②-1）。

この時、装具本体の赤いラインの縫い目部分が肩関節腔よりも下にくるように設定します（写真②-2）。

- ③ 固定用の幅広ベルトを腋窩に通し（写真③）腋窩パッドが腋窩の下にくるように設置します。

この時、ベルトが長い場合には、ベルトをカットすることで調整ができます。

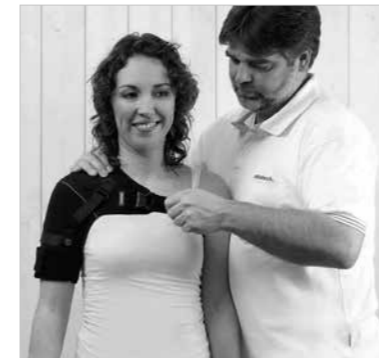


写真③



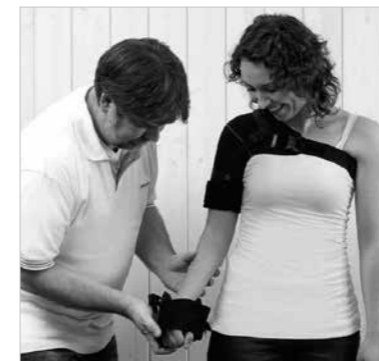
写真④

- ④ 幅広ベルトの前面にあるバックルを留めます（写真④）。



写真⑤

- ⑤ 上腕骨頭を持ち上げるように装具全体を引き上げ、幅広ベルトを締め込みます（写真⑤）。



写真⑥-1



写真⑥-2

- ⑥ 筒型形状になっている前腕カフに腕を通します（写真⑥-1）。

この時、前腕カフの面ファスナーが前面にくるようにします（写真⑥-2）。



写真⑦-1



写真⑦-2

- ⑦ 前腕カフの肘部分の開口部を肘頭に合わせながら、面ファスナーを閉じます（写真⑦-1、⑦-2）。



写真⑧

- ⑧ 懸垂ストラップの長さを選んで、ショルダーカフのボタンに取り付けます（写真⑧）。

納品時には、短いタイプの懸垂ベルト1組（2本）が本体に取付けられており、別途長いタイプ1組（2本）が同梱されています。